

精神障害「にも包括」の現在地

～都内各自治体での取り組みから、実践の方向性を探る～

■日時：2025年6月21日（土）

15：00～17：30（14:30 受付開始）

■講師：吉澤 浩一 氏（江戸川区相談支援連絡協議会）

中島 美穂子 氏（マインドはちおうじ相談支援センター）

横手 美幸 氏（支援センターきらきら 北区）

定員：60名（※会場内マスク要着用）

費用：会員無料 / 非会員 1,000円 ※当日、会場にてお支払い下さい。

会場：井之頭病院 1号館 9階大会議室

申し込み方法：下記 URL または QR コードから

お申し込みください。（申し込み〆切 6/14）

<https://forms.gle/kxWnTsBTaxVXLP6J7>



【問い合わせ】とうきょう会議研修部会：kensyu.tokyo.kaigi@gmail.com

～研修開催趣旨～

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」は、日本の精神保健医療福祉を入院医療中心から地域生活中心へと推進していくための施策として掲げられました。2017年2月に国の検討会で初めてこの言葉が登場したときは、明確にそうでした。当初「にも包括」の課題は、精神科病院からの退院を促進する地域での包括的な支援体制を築くことにあり、そのために保健・医療・福祉の横断的な協議の場を実効性あるものとして設置・運用していくことが必要だと考えられ、その運営主体は区市町村であると位置づけられました。

それから8年が経過した現在、「にも包括」は何を目指す施策になっているのでしょうか。現状、東京都内の区市町村の7割で「にも包括」に関する協議の場が設置されていますが、そこで協議されていることは、どんな実践に結びつくものなのでしょうか。今年度の総会企画研修では、「にも包括」の現在地を東京各地での取り組みを通じて見定めていきたいと思えます。

会場案内

井之頭病院 1号館9階大会議室（〒181-8531 東京都三鷹市上連雀 4-14-1）

<電車>JR中央線 三鷹駅南口より 徒歩10分

<車>駐車場有（有料）、駐車台数に限りあり

会場周辺図



井之頭病院敷地内図

